

## 🎁 まちの声&プレゼント

本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。お便りをくれた人の中から、アーネソナンサより好きなピザ1枚を6人にプレゼントします。

■応募締め切り 8月17日(金)当日消印有効  
※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます

■紹介・回答 お便りは個人を特定できる情報を削除し、要約して広報紙でご紹介させていただきます場合があります。また個別の回答は行っていません

■応募・問い合わせ ハガキかメールに住所・氏名・性別・年齢・電話番号・まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉ hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

プレゼントの提供者を募集しています。  
秘書課広報広聴係☎2208までご連絡ください。



### 好きなピザ

※テイクアウト不可

藤岡産小麦粉を生地に使用した噛めば噛むほど甘みを感じるピザ。

地産地消にこだわり、新鮮な野菜を使用した料理を提供しています。「あーね」「そうなんさ」といった楽しい会話に合わせて、お食事をお楽しみください。

## レストランカフェ アーネソナンサ

\*住所 藤岡市藤岡853-1(藤岡商工会議所1階)  
\*電話番号 ☎8424  
\*営業時間 午前11時30分～午後3時、午後5時30分～午前0時  
\*定休日 月曜日のディナータイム

地区で地域の支え合い活動が始まります。現在は参加者を募集中ですが、地域の中を地域の住民が支え合うのは横のつながりの始まりだと思えます。動ける人材が1日でも長く動いていられるような仕組みだと思えます。(60代・女性)

おいしいブドウの出来上がり待ち遠しいですね。ブドウ棚は夏の暑い日差しを遮るだけでなく、棚の下から見るみずみずしい緑色の葉は暑さを忘れさせてくれる美しさですね。

日除けのブドウ棚に、今年もブドウが実りました。初めて袋かけに挑戦しました。ずっと上を向いているので首が痛くなりましたが、秋の収穫が待ち遠しいです。(60代・女性)



まちの声

みなさんからの声を紹介します  
※プレゼント当選結果とは関係ありません

このほか4通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

広報をご覧いただきありがとうございます。11月25日には上州藤岡蚕マラソンも開催予定です。沿道からの応援で選手を励まし大会を盛り上げてください。

広報を見るたびに市内でいろいろなイベントが行われていることに驚かされます。チャレンジサイクリングフェスタなどの大きな大会も開催されているようで次の機会には参加は無理でも応援だけでも行ってみたいと思うこの頃です。(40歳・男性)

超高齢社会を迎えた現在、元気な高齢者が生活支援に参加し地域で支え合う体制づくりを目指しています。いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう皆さん一人一人が地域のつながりを大切にしていけることが大切ですね。

## 耳より情報

美しい自然の中で遊ぼう!

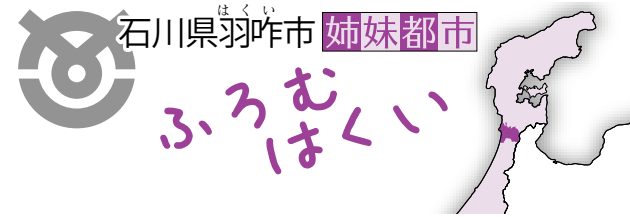


緑豊かな山々に囲まれた三波川の清流に親しめる小平河川公園。公園内には遊具やバーベキューサークルが設置され、隣接する川では小魚やサワガニなども見ることができるとこの時期人気のスポットです。

### 小平河川公園

住所 三波川65-3  
時間 午前9時～午後4時  
休園日 火曜日  
(祝日の場合は翌日)

その他 簡易バーベキュー施設についてはホームページをご確認ください。誰もが気持ちよく楽しく利用できるようご協力をお願いします



はくいびと 羽咋人の足跡をたどる

## 歴史民俗資料館で企画展

羽咋市歴史民俗資料館では、市制施行60年を記念して市制施行日の7月1日から「羽咋を知る一見再発見」と題した企画展を開催しています。羽咋で最も古いモノといえる寺家遺跡出土の約7千年前の土器片は、羽咋の歴史がはるか縄文時代前期にさかのぼることを教えてくれます。また国指定史跡吉崎・次場遺跡出土の稲作の道具は、新しい文化や技術をいち早く受け入れた能登最大の弥生ムラの暮らしを伝えています。このほかにも仏像や古文書など、重要資料を展示しています。羽咋市には石川を代表する遺跡や文化財が多数残されています。それらは「石川の歴史」の教科書を見るように、羽咋人の歩みを今に伝えています。



↑能登で唯一、弥生時代の全時期の様子を知ることができる史跡「吉崎・次場遺跡」の出土品

## ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.29

問い合わせ 文化財保護課(☎235997)

## 明治時代 藤岡の特産品

～藤岡で作られた養蚕道具～

高山社跡を含む「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されて、今年で4年目となります。

そして高山社跡に関連して多くの市民から寄贈された養蚕資料の中に、地元で作られた養蚕道具を確認できます。主な物では、吉田式・福嶋式・春山式桑刻み機、養蚕火鉢、桑切り包丁、羽ぼうき、葉桑貯蔵器といった養蚕道具が藤岡で作られていました。さらに明治40年の「高山社蚕業学校開校記念絵はがき」の1枚に養蚕道具が描かれ「藤岡町之製造物産」と紹介されています。

当時の藤岡の商店街には養蚕道具専門の蚕具店が何軒も店舗を構えていました。そして藤岡で製造された養蚕道具は市内だけでなく、市外や県外にまで販売されており、各地の資料館などで今でも藤岡の養蚕道具を目にする

ことができます。

明治時代から大正時代の藤岡周辺では、高山社だけが養蚕を広めたのではなく、地域住民が自ら進んで用具の発明や改良を行うなど、地域全体で養蚕業を盛んにしていった様子が見えます。



高山社蚕業学校開校記念絵はがき